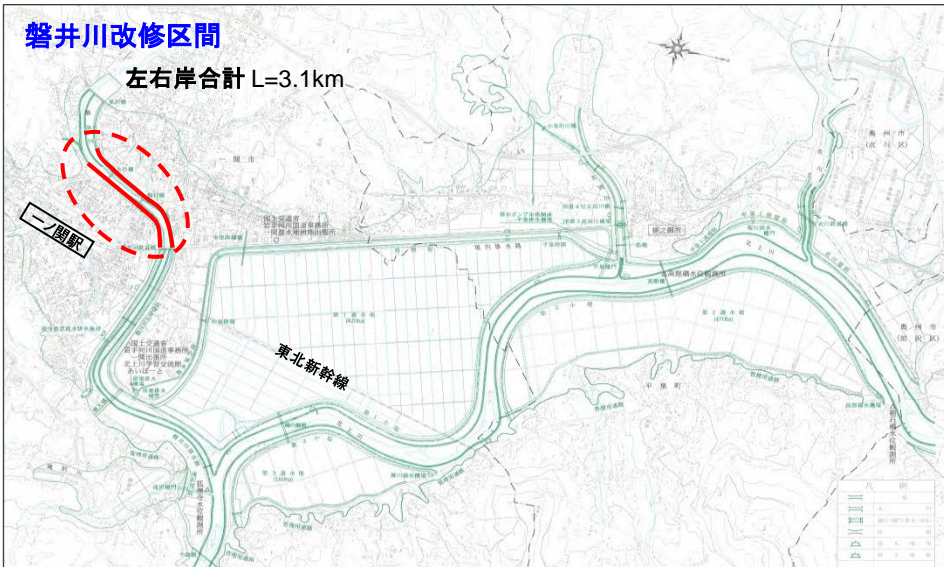


# 磐井川堤防の改修と桜の再生(1/3)

## 位置図

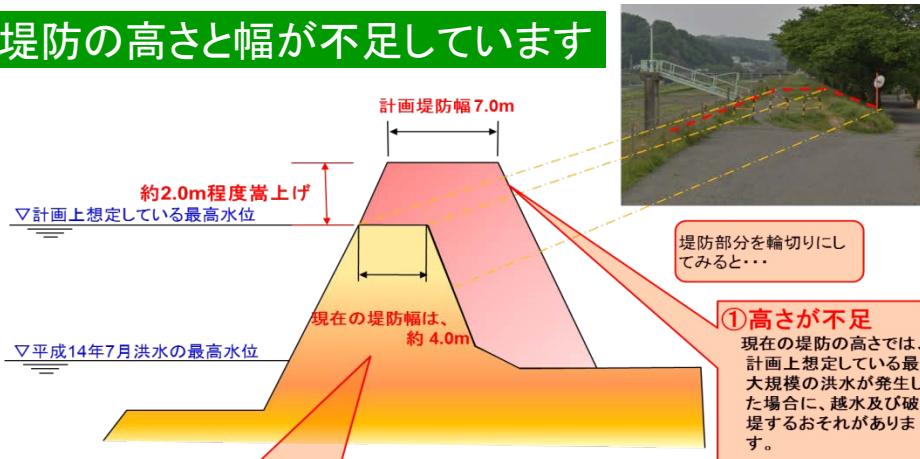


## 堤防改修区間



## 堤防改修の必要性

### 堤防の高さと幅が不足しています



**②幅が不足**  
現在の堤防幅では、計画想定している最大規模の洪水が発生した場合に、漏水するおそれがあります。

**③質的強化が必要**  
磐井川の堤防は古く、内部構造が不明確です。洪水に対する耐久性は必ずしも高くありません。

**①高さが不足**  
現在の堤防の高さでは、計画想定している最大規模の洪水が発生した場合に、越水及び破堤するおそれがあります。

### 桜の根が堤防に侵入しています

**④桜の根による空洞化**  
桜の木の根は堤防内部に侵入しており、根の一部が腐食し、堤防の中に空洞が発生するなど、堤防の安全性に問題があります。



青葉地区の桜の生育状況



桜の根の堤防侵入状況(根の腐食による空洞化)



# 磐井川堤防の改修と桜の再生(2/3)

## 磐井川堤防の桜の植樹経緯

昭和26年

S22カスリン台風、S23アイオン台風による大災害から復興を記念して2,000本の桜と梅が植樹された。

現在の桜並木(青葉地区)



平成22年9月30日

一関市長より岩手事務所長に対し「現状の景観がイメージできる桜並木の再生への配慮」についての要望

平成22年10月13日

『磐井川桜再生会議』を発足。『現在の桜の遺伝子を継ぐ桜を再生させ、新たな水害復興の証』とすることを決定。

平成23年2月

『磐井川桜再生計画』策定

平成23年2月18日

『磐井川堤防改修に伴う桜並木の復元を考える会』により現存する桜から穂木を採取し、苗木の育成を行う。



平成23年9月10日

伐採前に一関市民により『桜お別れ会』を開催した。



平成25年8月29日～

平成26年2月12日

磐井川かわづくりサロンを開催し、植樹をはじめとするまちづくりイメージを作成し、一関市へ提言した。

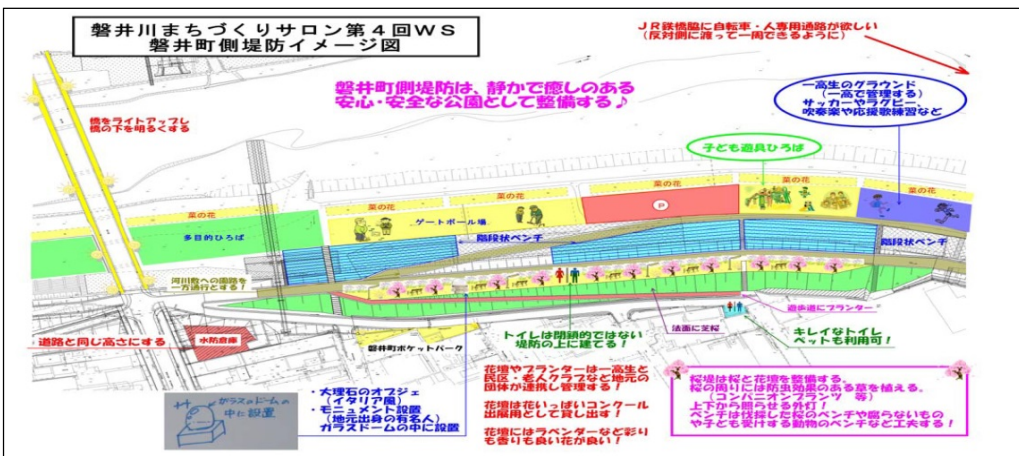


平成26年3月25日

サロンの提言を受けて「植樹祭」を開催すると共に、関係者に「磐井川まちづくりサロン検討結果報告会」を開催。



## 磐井川まちづくりサロンからの提言



## 磐井地区の桜の植樹祭(H26.3.25)

1. 主催者挨拶  
磐井川堤防改修に伴う桜並木の復元を考える会長: 小野寺 眞利
2. 祝辞  
①一関市長: 勝部 修  
②岩手河川国道事務所長: 高橋 公浩  
③一関商工会議所会頭: 宇部 貞宏
3. 植樹・芝張



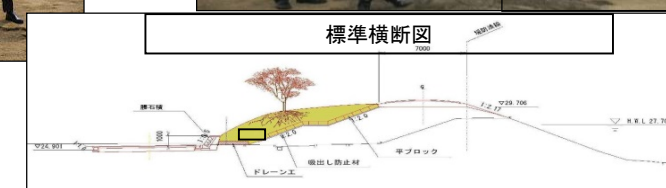
事務所長挨拶



植樹・芝張

植樹後記念撮影

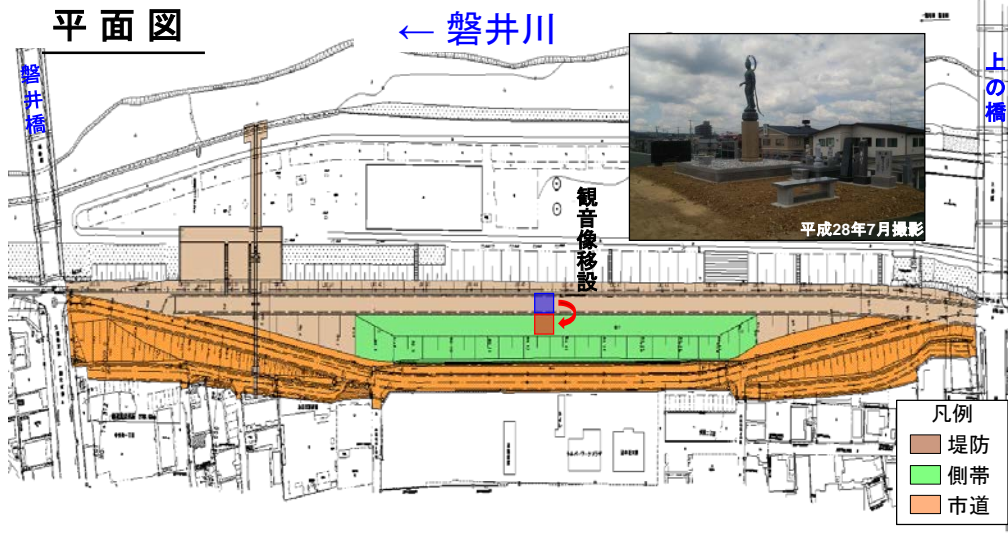
伐採本数 107本(左右岸計 ※予定含む)  
植栽本数 108本(左右岸計 ※予定含む)





# 磐井川堤防の改修と桜の再生(3/3)

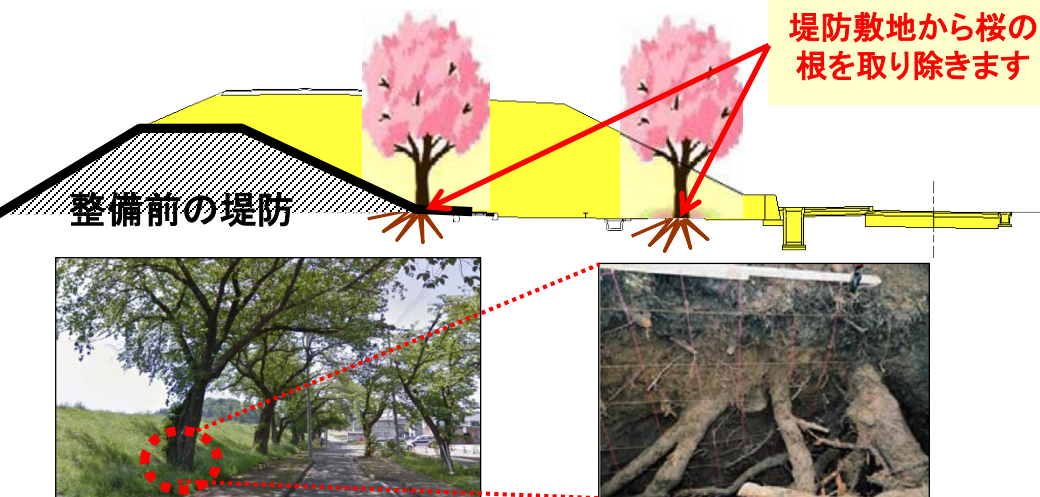
青葉地区施工範囲(H27~H28施工)



青葉地区堤防改修完成(H29.3)



堤防整備前の状況



桜植樹イメージ

